

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になりました心より感謝申し上げます。社会教育の推進及び体育施設の使用につきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。現在は、感染症防止対策をしていただきながら、施設利用や活動を再開しております。皆様の生き生きとした活動の様子を見し、生涯学習の大切さを痛感しているところです。

また、各幼稚園、小学校、中学校におきましても、昨年度に続いて感染症対策として、学習指導の方法や行事等の内容変更をし、教育活動を行っております。現在は、感染が収まりつつある状況ですが、今後の第6波の到来も想定しながら様々な活動を行っております。子どもたちは元気に過ごしております。これもひとえに学校園の取り組みに対しまして、家庭、地域の皆様のご理解とご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

今後とも皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「公立中学校夜間学級」のニーズへの対応・相談窓口について

岡山県教育委員会は、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校のためにほとんど学校に通えなかつた人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などに学ぶ機会を提供する「公立中学校夜間学級」の設置に向けた検討を始めました。そこで、町教育委員会では、「公立中学校夜間学級」での学び直しを希望する人の個別の状況を把握するための窓口を設置し、相談を受け付けています。

窓 口：里庄町教育委員会

対応時間：8：30～17：15（月曜～金曜）

対 象：①満16才以上で、中学校を卒業していない人

②中学校での教育をほとんど受けられなかつた人

※どちらも外国籍の人も対象です。

問い合わせ先：里庄町教育委員会 ☎ 64-7212



チラシは教育委員会窓口、東・西・中央公民館の窓口に置いています。

コミュニティスクールがはじめました

コミュニティ・スクールとは

学校・家庭・地域の三者が集まり、知恵を出し合う「話し合いの場」を設定し、学校運営について協議、承認を行う“学校運営協議会”が設置された学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。

様々な教育課題の克服、予測不可能なこれから時代を生き抜くためには、これまで以上に地域や保護者が学校に参画し、三者が協力することが求められます。地域や学校の課題に対して三者が連携、協働しながら当事者意識をもってかかわることで、子どもの「生きる力」を育むことにつながります。

コミュニティ・スクールで何が変わるの？

○子どもにとって

- ・子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- ・人、もの、自分を大切にする心が育ちます。
- ・防犯・防災の対策によって安全・安心な生活ができます。

○地域の人々にとって

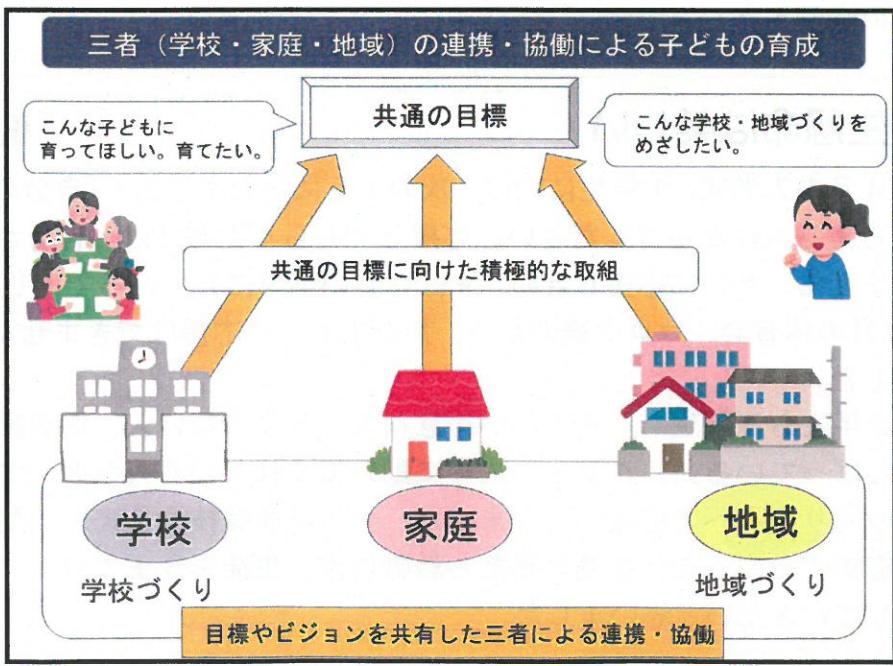
- ・個々の経験を活かすことで生きがいにつながります。
- ・学校が地域のよりどころとなります。
- ・地域が活性化し、防犯・防災体制が整い、安全・安心な生活ができます。

○保護者にとって

- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域に子どもが育てられているという安心感があります。
- ・保護者同士や地域の人々の人間関係の構築でできます。

○学校にとって

- ・地域の理解を得た学校運営の実現が可能となります。
- ・地域資源を活用した教育活動が充実します。
- ・地域との協働により、子どもと向き合う時間が確保できます。



子どもの創意を生かした取組

里庄東幼稚園・東小学校長 松原 修



学級旗とともに笑顔で入場する児童

里庄町の教育方針を受けて、本校・園においても子どもたちの非認知能力（自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながる力）を育むことを大切にしています。東小学校では、特別活動の工夫がその大きな柱の一つです。

11月に行われた運動会に向けて、会を盛り上げたいという思いで各学級から様々なアイデアの発案があり、代表委員会で話し合いました。決まった取組は学級ごとに分担して準備していました。今夏の東京オリンピックに触発されたのか、案の中に「聖

火リレー」と「学級旗を掲げて入場行進」がありました。この二つの案はプログラム編成にも関係する上、児童だけでは練習が難しいものですが、教師側でも実施可能か検討した結果、児童の思いを大切にし、新たに加えることに決りました。このような経緯で児童のアイデアがプログラムに反映されました。このように今後も特別活動においては、教師主導になりがちな場合でも、児童の創意を生かし教師と共に創り上げていくことも大切にしながら、児童の自主性や主体性の伸張を図っていきたいと考えています。

東幼稚園では、毎月誕生日を迎える園児をみんなでお祝いする誕生会を開いています。始めの言葉に始まり、誕生日を迎えた園児へ質問や、出し物など約1時間の楽しい時間です。年度前半は教師が司会やお楽しみ企画を行っていましたが、後半は、年長児が手分けをして行っています。10月の誕生会では、5人の園児が司会とお楽しみの宝探しゲームを担当しました。ゲームの時間になると、担当の園児は数日前から準備していた宝を別の部屋に隠しました。その後、他の園児は目を皿のようにして宝を探していく、見つけると満面の笑みを見せっていました。やり終えた担当の園児はとても満足そうな顔をしていました。次回からの園児の活躍も楽しみです。



8人の児童が聖火をリレー



誕生日の友達への質問タイム

一生懸命は美しい

里庄中学校長 池田 敬治

4月の入学式。1年生に向け、次のように伝えました。「自分のがんばりを周りの人々に応援してもらえる人になってください。応援してもらうためには、自分が周りの人々を応援できなければなりません。互いに応援し合い、すばらしい学年にしていってほしいと思います。」そして、迎えた10月の体育会。コロナ禍のため、声を出しての応援はできませんでしたが、みんな拍手で応援しました。

2年生も3年生も。走るのが得意な人、そうでない人、係活動をがんばっている人、クラスのために動いてくれている人など、すべての周りの人への応援ができました。一生懸命競技する姿。一生懸命応援する姿。それを見た私たち教職員は、生徒を今まで以上に応援していきたいと思いました。



体育会の様子

異年齢交流について

里庄西幼稚園・西小学校長 柚木 康男

里庄西小学校では、本年度、春に予定していた運動会を10月に延期して行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、低学年（1、2年生）、中学年（3、4年生）、高学年（5、6年生）に分かれて行いました。本年度のスローガン「全集中、コロナに負けず、かがやけパーフェクト運動会」のもと、かけっこ、リレー、玉入れ、タイヤ引き、大玉運びなどの種目に力いっぱい取り組み、お互いに応援をしました。開会式を放送で行い、全校でスローガンを唱えるなど、全校児童が心を一つにできるよう工夫して行いました。本番では、お家の方の応援をいただき、達成感や充実感を高めました。

また、11月には、例年体育館で行っていた学芸会の代わりに、感染症対策のため各教室で学習発表会を行いました。各学年で学習してきたことを、劇や模造紙、タブレットなどを使って分かりやすく家の人伝えました。練習中には、他の学級や学年に発表をする機会を設けました。例年とは違う行事のやり方でしたが、異年齢の貴重な交流の場となりました。

幼稚園では、異年齢で一緒に活動することで、相手を思いやる気持ちを育むようにしています。年少児は、年長児が遊んでいる様子を見て、憧れを抱いたり、新しい遊びやルールを覚えたりします。また、年長児は、自分たちが手本となることで自分の言動に自信をもったり、成長の喜びを感じたりします。子どもたちが、安心して遊ぶことができるよう、教師は遊びの環境構成や援助の工夫に努めています。

このように学校・園では、コロナ禍の中で、異年齢の交流に安全に配慮して取り組んでいます。今後とも様々な工夫をしながら、豊かな体験を通して、「里西っ子の生きる力を育てる」という学校・園目標の実現に努力してまいります。



修学旅行の様子

3年生の修学旅行。沖縄には行けませんでしたが、10月に鳥取大山・蒜山に1泊2日で出かけることができました。2年生の広島研修にも11月に出かけることができました。まだまだ、感染症予防対策が必要な中、ご家庭の皆様のご協力のもと、生徒がルールやきまりをしっかりと守ることができるからこそ、実現できた行事です。一生懸命、ルールやきまりを守る姿は美しい。そんな美しい姿をこ

れからも何度も見ることができるように、里庄中学校教職員一同、しっかりと生徒に寄り添い、一緒に道を歩んでいきたいと思います。今後も引き続き、ご家庭の皆様、地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。



運動会玉入れの様子



学習発表会の様子



ハロウィンパーティーの
様子（西幼稚園）



広島研修の様子